
欲求、欲望はすぐ満たせ

マックス・ゼロ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

欲求、欲望はすぐ満たせ

【コード】

N0959Z

【作者名】

マックス・ゼロ

【あらすじ】

思っていることを書いてだけです。

欲求や欲望は、それがわいてきた時点ですぐ満たすのがいい。たとえば、ここに100mLのビールカーがある。このビールカーは今は空だ。

そしてこの空の状態は、100欲求が満たされていなく、それを満たそうとするエネルギーが100である状態としてみよう。たとえば食欲なら、腹が減っていて、それを満たそうとするエネルギーがマックス100だ。

通常、この状態では、とても食べたい、そして食べたいエネルギーに満たされている、そこで食べ物を求めるという行動にエネルギーが変換される。そして食べ物を手に入れ口に入れることで欲望のピーカーは満たされていき、100になったとき、エネルギーは0になる。

腹がいっぱいになれば、もはや食べたいという欲望は満たされたため、エネルギーつまり欲望を満たす原動力は0となる。

もう一つのケースを考える、腹が減っているが、金がない、買いに行くのがめんどくさい、ダイエットしている、などなど、欲望があるがそれを満たせないケースだ。

この場合、どうなるかというと、100mLのビールカーがたとえば50mLのビールカーになってしまったりするのだ。これによって、満たしたいというエネルギーじたいが半減され時間とともに、フラストレーションは下がっていく。

たとえばこんなケース、見たい映画がある、やりたいゲームがある、でも受験生だから

我慢しなさいと親に言われて、我慢せざるを得ない。

受験期が終わり、当時見たかった映画のビデオとゲームがビデオ屋にあるのを見つけた

ああ、これそういえば当時すごく欲しかったんだよなあ・・だけど今はそれほど欲しくないなあ、まあでもとりあえず買ってみるか。そして買ってみる。ビデオを見てゲームをやる。

だけど面白くない。きっと当時見れば面白かったのだろう。言いよ
うのないむなしさだけが残る。

恋愛においてもそうだろう、昔は好きだったあの人も、今は好きではない、とか、むしろ

達観して性欲自体なくなる、など。

金持ちになりたい、という思い欲求も、おそらく万人が持っているはずだが、それを満たせずにいると、だんだんと、金なんてあってもしょうがない、とか食っていけばいいじゃないかとか、人それぞれとか、ある意味達観したような境地になり、100ミリリットルだったビールはいつのまにか10ミリリットルのビールに変わってしまったているのだ。

逆に100ミリリットルのビールを満たした後、200ミリリットルのビールにすり替わる人もいる、こういう人はもつともつと欲望を満たすエネルギーが増えて、アグレッシブになっていくだろう。

どちらがいいかと言えば、それは後者である。満足を知らぬものがない。なぜならそれはエネルギーが高い状態だからだ。

エネルギーが低い状態では、少し欲望を満たせば満足するのだが、実はこれは本当の意味では満足していなく、100mlのビールの状態から見れば10mlのビールが満タンになっても90の虚しさが残るのである。

たとえば俺は今もーれつにアンドーナツが食いたいとする。今食べる状態にある、金がある、近くにコンビニがある、体が動く、だけどもんどくさいから行かないで我慢しよう、寝よう。そして満たさないでいる、起きた後、すでにアンドーナツは食いたくない。コン

ピニに行ってもアンドーナツを前にしても買いたくないのだ。ここで仮に買って食ったとしてもうまくはないだろう。ここに虚しさが生じてしまうのだ。だからすぐに食いたければすぐに買って食うのが一番なのだ。

我慢すること、無欲であることは美德とされることもあるが、それは常にエネルギーの低い状態であり虚しさを助長する。実際、私自身、我慢するし無欲な存在であるが、何か得体のしれない虚しさが心にうずまいているのだ。

これはうつ病や自殺を引き起こす原因の一因ともなっているだろう。エネルギーが高い状態になれば、たとえ借金まみれでも、それをすべて返済しさらに財を築くことも可能だが、エネルギーが低い状態では、うつや自殺につながることもある。

だから欲望はでかくていい、そしてそれをすぐ満たすように行動せよと私は言いたい。

たとえば、私は株で月に100万儲けた。だが、それをどう使っていいのかわからない。

そこで私はなぜかホームセンターで入りもしない工具や懐中電灯などを買いあさったのだ。

これは他の人から見れば奇妙な行動に見えるかもしれない。なぜ入りもしない欲しくもないものを買うのだと思われるだろう。しかし当時の私は、欲望がなかったのだ、それを発散させる対象物がなかったのだ。ものすごく腹が減っていれば、高級レストランでも行って3万でも4万でも食ってきただろう、だが、その時の私は、食に対する欲求がなかったのだ。

ものすごく性欲が高ければ風俗をはしごしたりもしただろう、だが、私は風俗に行くほど性欲が高くなかった。

ブランド物のバッグや宝石など、それを買うことで欲望が満たされるなら買った方がいいだろうが、私はまたそういったものに一切興味がなかった。

だから私は金を手にしても、それをどう使ったらいいかわからずに、

なぜかホームセンターで無駄なものを大量に購入したのだ。実にバカだ。服でも買っとけばよかったるうに、その時の私はおしゃれやファッションにも興味がなかった。

ゲームもやらずにいると、それじたい興味がなくなってきた、少ない趣味がさらに少なくなるのだ。

それと面白いことに私の場合、金がある時は金を使いたくなく、金がない時は無性に使いたくなるという変な特質があるのだ。

とにかく欲望は沸いたらすぐに満たすのがいい、我慢することあきらめること、後先のこと考えてどうたらこうたらってのもあるが、後先のこと考えすぎて、虚しさだけが心の中を支配する状態になつてはならないと思うからだ。

コンビニの棚の前で、あんどーなつくいてーって気分になつて買って食つてうめーって状態

になりたいだろう。あんどーなつを前にして、あれ、別に食いたくねえや、前は食いたかったけどなあ・・っていうのはすごく虚しい状態になるからな。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0959z/>

欲求、欲望はすぐ満たせ

2011年12月3日17時45分発行